

雷ナウキャストの利用について

文部科学省_令和7年6月12日事務連絡

「学校事故の詳細調査報告書の共有について(屋外でのサッカー活動中における高校生の落雷事故)」一部抜粋

再発防止に向けた 指摘

屋外活動実施責任者及び実施担当者は、

- ① 雷及び落雷についての最新の正確な知識を習得しておくこと。生徒等に対しても同様の知識を習得させることが望ましいこと。
- ② 屋外活動の前の時点で、天気予報の雷注意報の発表の有無を確認すること。
- ③ 取得した雷雲等の情報により落雷の危険があるときは、躊躇することなく屋外行事を停止し、安全な建物の中に生徒等を避難させること。
- ④ 避難の終了及び屋外活動の再開については、「雷ナウキャスト」等により雷雲等の動き等に関する情報を十分に収集して落雷の危険が去ったと認められる状態になったことを確認した上で判断すること。
- ⑤ 避難方法及び避難中の事故を避ける対策をあらかじめ用意しておくこと。さらに避難した時に備えて、屋内でできる活動をあらかじめ用意しておくこと。

令和7年5月20日 熊本県立鹿本高等学校サッカー一部落雷事故調査委員会

「報告書(公表版)要旨」一部抜粋 <https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/attachment/281351.pdf>

一定時間ごとにスマートフォンの天気予報を見ていたものではなく、また、スマートフォンの天気予報を見るときも、雨雲レーダーはみていたが、各種の注意報や雷に特化した情報画面は見ていなかった。(52頁9~15)

雷ナウキャストの利用方法

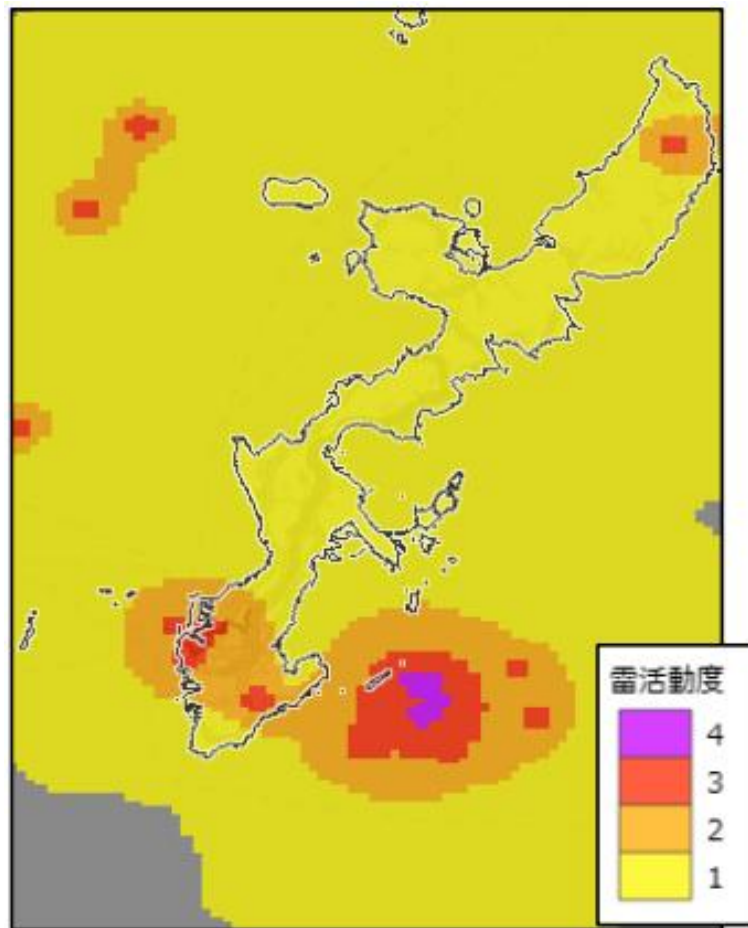
検索サイトで「ナウキャスト」と検索→



気象庁

<https://www.jma.go.jp>

雨雲の動き・雷活動度・竜巻発生
確度 (ナウキャスト)



これを押す

下表より、オレンジ以上が危険



活動度	雷の状況		屋外において想定される対応	屋内や工場などで想定される対応
4	激しい雷	落雷が多数発生している。	●屋外にいる人は落雷の危険があるため、建物や車の中へ移動するなど、安全確保に努める。 ●屋内にいる人は外出を控える。	●パソコンなど家電製品の電源を切り、コンセントを抜く。 ●工場の生産ラインなどリスクの大きい場所では、作業の中止や自家発電への切替などの対応をとる。
3	やや激しい雷	落雷がある。		
2	雷あり	電光が見えたり雷鳴が聞こえる。落雷の可能性が高くなっている。		
1	雷可能性あり	現在、雷は発生していないが、今後落雷の可能性はある。	今後の雷ナウキャストや空の状況に注意する。	

※ 活動度1～4になっていない地域でも、積乱雲が急速に発達して落雷する場合がある。